

2024年12月20日(金) 第44回例会

【オンライン：ZOOM開催】



会長の時間



沖縄首里 RC 会長 坂東 隆弘

Arch C. Klumph ロータリー財団の創始者です。1916-17年度ロータリークラブ国際連合会、後の RI の会長です。(アメリカ・クリーブランド RC)「材木-卸売ならびに小売」1917年、アトランタ国際大会で、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べ、この提案が「ロータリー基金」という名前でスタート、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として認証されました。よって彼は、「ロータリー財団の父」とたたえられています。彼は貧しい少年時代を経て、米国オハイオ州クリーブランドで実業家として大をなした立志伝中の人物です。また、彼は、フルート奏者として14年間クリーブランド交響楽団の団員でしたし、スポーツマンとして



Arch C. Klumph

も活躍するという一面も持ち合わせていました。

そして、アーチ・クランプは、国際ロータリーの新定款を起草する委員会の委員長として、地区を設け、地区ガバナー職をつくり、地区年次大会を確立した責任者でした。また、彼は全ロータリークラブのために標準ロータリークラブ定款と細則を書き上げ、1915年に採択されました。ロータリーの初期において、アーチ・クランプの仕事は、ロータリーの発展に必要な結束を築くことだったように思います。彼は、1912-13年度、クリーブランド RC 会長を務めました。彼の人物を表すのに、友人達は次のように評していました。「寝てもさめてもロータリー」の人間であると。当時ですら、彼は、いつも将来に目を向け、ロータリーがよい活動が続ける方法を模索していました。その彼がロータリーにかける夢の一つを初めて吐露したのはクリーブランド RC の会長のときでした。クラブ会長としての最後のスピーチで、今後、クラブが多くなることができるように「非常時基金」を作ることを提案しました。「非常時基金」の提案は、4年後のアトランタで、「ロータリーが基金をつくり、何かよいことをしようではないか」という形で再登場します。ですから、R 財団 100 周年の世界大会はアトランタ大会なのです。

各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第1次世界大戦中にアーチ・クランプの夢が提起されたということは、彼の理想の素晴らしさ、崇高さのあかしと言えるでしょう。(尚、同じ年にライオンズ・クラブ・インターナショナルの1917年創設(メルビン・ジョーンズ)) アーチ・クランプが思った財団の目的は何であったのか、今一度確認する必要があります。当初より、彼は、ロータリー財団が、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進するためのものと認識していました。ロータリアン誌の1928年9月号の記事の中で、この目的の達成方法の見本例を挙げています。学生の交換、グループの交換、国際事業関係を通じての友好。1928年にアーチ・クランプが思い描いたプログラムの多くは、現在、奨学金、研究グループ交換、グローバル補助金、VTTなどの形で生かされてきました。R財団は、これらの目的を実現するための手段であったはずなのですが、いまや、なぜかR財団が目的化しているよう思います。

アーチ・クランプは、ロータリーを不滅にする手段として基金を構想しました。

彼の言葉に、「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に碑名をきざんだとしても、やがてはくずれてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘をきざむなら、そして、ロータリー精神と、神をおそれ同胞を愛する気持を吹き込むならば、われわれがきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう」。

1930年代には、大恐慌が世界中で影響を及ぼし始めました。誰もが生活に困っているとき、そんなとき、財団は、最初の補助金を授与したのです。ロータリーの創始者、ポール・ハリスが名前を秘して、米貨500ドルを寄付し、身体障害児童保護国際協会にその500ドルを贈ることを要望したのです。この身体障害児童保護国際協会は、ロータリアンのエドガー F. "ダディー" アレンの創立したものです。障害者援助というダディー・アレンの独創的な活動は既に1919年に始まっていました。障害者のリハビリテーションを援助しようという使命感・活動は、多くのロータリアンの心をとらえました。一時は、ロータリーの綱領の一つに提案されたほどでした。そしてその後、ポリオ・プラスによって、財団の熱意は、リハビリテーションという枠を越えて一生の障害または死に至る小児病の予防にまで発展しました。

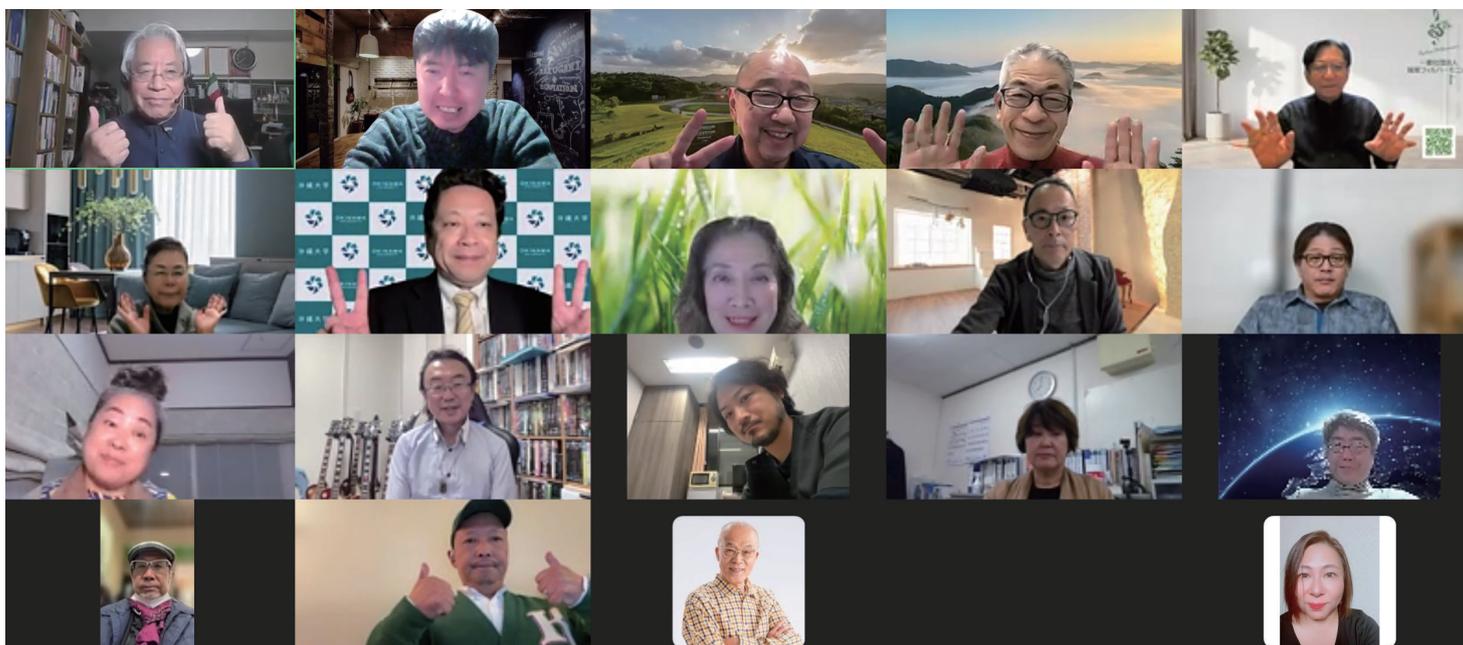
この活動がロータリー補助金とプログラムの基本となっています。何が正しく、何をしなければならないかに関する基準になりました。補助金は社会的ニーズを重要視します。困窮している人々がよりよい暮らしを送れるようにする基準になりました。青少年のためになることをする、その基準になりました。青少年は将来に投資するロータリーの絶えざる熱意を暗示するものです。ロータリーだからできる事、ロータリーでなければ困難なこと、私たちは、この沖縄で、青少年に国際性と多様性を学んでもらうこと、子供たちの環境教育にまで昇華させること。補助金奉仕プロジェクトを実施し、会員の皆様の協力により立派な果実・成果を上げてきたと思います。

ロータリーならではの、ロータリーでこそ、他団体にはできない基本に沿った奉仕プロジェクトが実施されることを期待します。

例会次第

開会点鐘	坂東 隆弘 会長
ロータリーソング「OSRC の歌」	
ビジターゲスト紹介	司会
会長報告の時間	坂東 隆弘 会長
幹事報告	土田 光一 幹事
委員会報告等	各委員長
卓話	田中 久光 直前会長
閉会点鐘	坂東 隆弘 会長

例会の様子



卓話

田中 久光 直前会長

「ハローRotary / Love Rotary」



今回の例会では、田中 久光 直前会長に卓話をいただきました。

卓話では「ハロー Rotary / Love Rotary ロータリー基本情報」(作成：松坂 順一パストガバナー・名誉会員、校正・編集・出版：田中 久光 直前会長)に基づき、「ロータリークラブの概要とその歴史」、「活動の種類と範囲」、「ロータリーの組織と役割」の3つの視点で学び、ロータリークラブへの理解を深める貴重な機会となりました。

ビジター・ゲスト紹介

オンライン参加 ロータリアン - makeup -

RID2580 東京本郷 RC	市河 久和 様	via ZOOM
RID2750 東京中央 RC	太田 嘉正 様	via ZOOM
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	田澤 靖代 様	via ZOOM
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	上原 有代 様	via ZOOM

(順不同)



幹事報告



土田 光一 幹事

■ 理事会報告

- 2025年2月7日(金)に沖縄分区のIM(インターシティミーティング)が開催されます。沖縄首里ロータリークラブの例会と重なりますが、IM参加を例会出席となることが承認されました。ZOOMでも参加出来る様に手配をします。
- 2024年12月26日(木)臨時理事会が開催されます。審議事項は社会奉仕委員会の6月事業についてです。

今後の主な活動・会議

- 沖縄分区IM(インターシティミーティング)
2025年2月7日(金)14:00～
登録開始:13:30
本会議:14:00～17:30
懇親会:17:50～20:00
場所:ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城「首里の間」「守礼の間」
分担金は全員登録となっています。

出席報告

参加者:22名【うち、会員18名 / 40名 [出席率:45%]】

次回例会のお知らせ

- CR45 ちょこっとロータリー
開催予定日時:2024年12月27日(金)12:10～12:55(お昼)
開催方式:オンライン(ZOOM)
- 第45回 例会
開催予定日時:2025年1月10日(金)19:00～20:00
開催方式:ハイブリッド
会場:オリオンホテル那覇 B1ガジュマル
- 第46回 例会
開催予定日時:2025年1月20日(金)19:00～20:00
開催方式:オンライン(ZOOM)



沖縄首里 RC 事務局
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-21-1-201 IUU 株式会社社内
Email osrc-office@okinawashuri-rc.jp
Call 098-867-3300



District 2580
Rotary
Club of Okinawa Shuri

